

## 特集

# 看護小規模多機能型 居宅介護の現在地 地域に求められる「居場所」と なるには

通い・泊まり・訪問看護を組み合わせることで、退院直後などの重症者から看取りまでカバーする看護小規模多機能型居宅介護（看多機、旧複合型サービス）。2012年度介護報酬改定で誕生し、現在、全国に400以上を数えるまでになりました。

看護と介護の密な連携によるケアの質の向上や在宅復帰率の改善など現場からのやりがいの声がきかれる一方で、「想定ほどには普及していない」という分析もあります。経営状況や定員が満たされないことや、スタッフの定着率の低さに悩む現場もあるようです。本特集では、地域のニーズに応えることで、ケアも経営も高い質を保っている看多機にご登場いただき、その秘訣を探ります。

## 経営実態調査から見てきた看多機の“いま”

●福井小紀子

## データでみる看多機の現状と今後の展望

●沼田美幸

## 【看多機の現在地】

## 在宅復帰をめざす人を地域とともに支える

●福田裕子

## 看多機だからこそできる人材育成●佐古田専美

## 共生型サービスとサテライトへの挑戦●林田奈緒美

## 看多機と在宅医の連携のポイント●斎藤忠雄

※一部変更となることがあります。

## 編集後記

隣の席に座っていても、他の編集者の仕事ぶりは知っているようで知りません。「依頼時はこんな1文をつけているよ」というような工夫を聞いて、驚くこともしばしば。他人の仕事を知ると、自分の仕事のやり方も客観視できたりなんかして参考になりますし、単純に面白かったりしませんか？ 今月号はそんな読後感を期待して動き出したものでした。無理なお願ひにもかかわらず、紹介して下さった皆さんに感謝申し上げます。●座談会では、「やる／やらない」ではなく、「どうすれば、個別事情に折り合いをつけてできるのかを考えよう」という呼びかけがありました。いろいろ言い訳をつけてやっていないあれやこれを思い出し、反省中です。…小池

今回の特集では、いろいろなステーションの「うちの工夫」が伺えて、とても勉強になりました。オンコール体制を構築して情報共有を行ったり、緊急対応とならないように日中の訪問や電話などで予防対策を行ったり、日ごろから報告や記録の方法を整えたり……といったさまざまな工夫を拝読していると、すべて日常業務内の取り組みなのだと気がつきます。緊急対応を“緊急”にしないことが、24時間対応できる自信につながるのかもしれませんが。●一方で、日常生活でも仕事でも“緊急事態”に慌てる人が多い自分を振り返ると……想定外のように見えて、じつはほとんどが予想しうる事態だったと認めざるを得ませんでした。「たぶん大丈夫!」とすぐ言いがちな性格から見直す必要がありそうです。…栗原

訪問看護と介護 第23巻 第7号（通巻265号） 2018年7月15日発行（毎月1回15日発行）

発行：株式会社医学書院 代表者：金原俊 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2018, Printed in Japan

1部定価：本体1,400円＋税 年間購読料（税抜，送料弊社負担，年間12冊）：12,600円（冊子版）／15,600円（冊子＋電子版／個人）／12,600円（電子版／個人）

販売部：☎03-3817-5659 社内案内：☎03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室：☎03-3817-5787 FAX03-5804-0485 担当：小池・栗原・横田・南部

✉ houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter @houmonkango

医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp/> ウェブマガジン『かんかん!』 <http://www.igs-kankan.com>

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為（複写，スキャン，デジタルデータ化など）は，「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。

大学，病院，診療所，企業などにおいて，業務上使用する目的（診療，研究活動を含む）で上記の行為を行なうことは，その使用範囲が内部的であっても，私的使用には該当せず，違法です。また私的使用に該当する場合であっても，代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。

【JCOPY】（出版者著作権管理機構委託出版物）

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は，そのつど事前に出版者著作権管理機構

（☎03-3513-6969，FAX03-3513-6979，✉ info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

※「訪問看護と介護」は，株式会社医学書院の登録商標です。